

## 主要普及成果の紹介

### 「除草剤抵抗性スズメノテッポウの効果的な総合防除技術」の普及

#### 【現在までの技術の普及状況】

除草剤抵抗性スズメノテッポウを効果的に防除する技術（センターニュース No.40 掲載）は、現在、100ha 程度まで普及していると推測しています。浅耕播種や不耕起播種、非選択性除草剤を組み合わせた総合防除による効果が認められ順調に普及しているようです。

#### 【実践した農家の方の評価】

浅耕播種は新たな機械が不要なことからすぐに導入できる技術ですが、生産者には、たった5cm 程度しか耕起しないでもともとコムギが作れるのか、との不安もあるようです。ところが、半信半疑で試してみた生産者から「スズメノテッポウが減ったし、コムギの生育も問題がなかった。」との感想をいただきました。また、同じ難防除雑草のネズミギヤカズノコグサ（写真）が多発する圃場で試した生産者もおられ、「雑草が少なくなったようなので来年もやってみたい」との声も聞いています。



ネズミギ多発圃場



カズノコグサ多発圃場

#### 【今後の普及】

この総合防除は、耕種的に雑草の発生を減らすことが最大のポイントになりますが、除草剤の効果的な利用もポイントの1つです。本技術のマニュアル（下記 URL 参照）作成時は、利用可能な農薬登録済みの除草剤は液剤タイプのみでした。しかし、現在では粒剤タイプも農薬登録されており、利用できる除草剤も増えたことから、さらに普及するものと期待しています。

今後、新しい除草剤が販売され、この総合防除技術が他の雑草防除でも使えるようになれば更に普及していくものと期待しています。

【水田作・園芸研究領域 大段 秀記】

麦の浅耕播種・不耕起播種を活用した除草剤抵抗性スズメノテッポウ総合防除マニュアル

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/publication/pamphlet/tech-pamph/041717.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/041717.html)

【編集注】この技術は NARO RESEARCH PRIZE 2013 を受賞しました。

(5. 埋土種子の耕種的低減技術を活用した除草剤抵抗性スズメノテッポウの総合防除技術)

[http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/research\\_prize/2013/048734.html](http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/research_prize/2013/048734.html)



圃場での浅耕播種作業